

山陰新幹線の整備促進について

中国部会提出
説明担当 境港市

国においては「国土強靱化」と「地方創生」を推進するため、全国の主要都市を結ぶ「新幹線ネットワーク」の実現による国土軸の整備を進め、沿線地域に大きな経済効果と開発効果をもたらしているところである。

しかしながら、昭和48年に閣議決定された山陰新幹線の基本計画は、整備計画に格上げされることなく45年以上も放置されたままとなっている。太平洋側を中心に新幹線整備が順調に進むなか、日本海側の高速鉄道ネットワークが欠落している状況は、山陰地方や日本海沿岸都市の発展だけでなく、わが国全体の均衡ある発展を阻害する要因となっている。

また、山陰新幹線の整備は、日本海沿岸を縦貫する日本海側国土軸の形成に必要不可欠であり、今後危惧される南海トラフ巨大地震等の太平洋側の大規模災害に備え、わが国の機能不全防止の観点からも、リダンダンシー確保のためにも極めて重要である。

このことから、山陰新幹線の整備に向け、下記の事項について強く要望する。

記

- 1 国家戦略的観点からの新たな国主体の整備方式を検討するとともに、新幹線整備に係る予算枠を拡大すること。
- 2 日本海側国土軸の形成のため、基本計画路線である山陰新幹線を整備計画路線に格上げし、第二期整備計画に位置付けること。
- 3 新幹線整備にあたっては、並行在来線をJRの経営から安易に分離することなく、共生が図られるスキームとすること。